

会 議 等 の 名 称	第 40 回 （仮称）日進北部土地区画整理組合設立発起人会
日 時	令和 2 年 11 月 27 日（金） 午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分
場 所	日進市中央福祉センター2 階多機能室

議事要旨

ニュースレターの発送について

日進市から発起人へ、11月25日（水）に地権者に向けたニュースレターを発送したことを報告した。掲載内容について、前回発起人会で挙げた修正意見を反映したものであることを報告した。

設計図の見直し状況について

パートナーから発起人へ、設計図見直しの経緯と現況を下記のとおり説明し、発起人と意見交換をおこなった。

【説明の概要】

- ① 実際に区画整理事業を進めていく中で、事業費不足が生じることが無いような計画となるように、パートナーが精査を行ったところ、事業費・減歩率ともに増加する可能性があることが判明した。その計画では合意形成を図ることは困難であると判断し、計画の見直しを進めることとした。
- ② 仮同意収集時点の計画を基本として、見直しを進めていたが、事業費・減歩率ともに削減には限界があったため、本地区の大きな課題である残土処理費の削減等に焦点を当て、東地区を中心に抜本的な計画の見直しを進めることとした。
- ③ 現在平均減歩率65～68%を目標として、残土処理費の削減、移転補償費の削減等が可能な設計図になるように見直しを進めている。

【発起人会からの意見・質問】

- ① 調整池の整備計画は、住宅地の環境悪化をもたらす内容となっていないか。

（パートナーの回答）

調整池の機能確保とコストを両立させようとする、位置と構造に一定の制約はでてしまっている。しかし、景観等に配慮し、住宅地と共存する計画としていきたい。

- ② 事業費が当初計画から36億円増額することが判明したことについて、地権者の理解をいかに得るのか。

（パートナーの回答）

事業費不足のリスク削減を目的として、事業費の精査を行った結果、当初見込んでいた事業費より増額することがわかったため、事業費を削減できる計画への見直しを進めている。

その結果、事業費削減に一定の成果も現れてきているため、さらなる削減に向けて今後も検討を進めていく。

というような、これらの経緯と成果を丁寧に説明していくことで理解を得ていきたい。

- ③ パートナーの精査によって事業費が当初計画から36億円増額することが判明したことについて、36億円の内訳はどのようなになっているか。

（市からの回答）

内訳は調整池整備費、移転補償費、水道整備費、残土処理費の増額が大部分を占めている。